



## 2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年1月12日

上場会社名 株式会社アーコア 上場取引所 名  
 コード番号 3384 URL https://arkcore.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 正渡 康弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 土屋 勉 (TEL) 03(5928)1537  
 四半期報告書提出予定日 2022年1月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年2月期第3四半期の業績 (2021年3月1日~2021年11月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	2,860	40.9	128	324.4	146	331.7	119	424.9
2021年2月期第3四半期	2,030	—	30	—	33	—	22	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2022年2月期第3四半期	67.06		63.61					
2021年2月期第3四半期	12.78		12.42					

(注) 当社は、2020年2月期第3四半期は連結財務諸表を作成していたため、2021年2月期第3四半期の対前年四半期増減率は記載していません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	
	百万円	百万円	%	
2022年2月期第3四半期	1,507	448	29.7	
2021年2月期	1,425	329	23.0	
(参考) 自己資本	2022年2月期第3四半期	447百万円	2021年2月期	328百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年2月期	—	0.00	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年2月期の業績予想 (2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,276	19.0	100	168.3	87	116.6	60	—	34.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2022年2月期3Q	1,970,000株	2021年2月期	1,970,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2022年2月期3Q	193,667株	2021年2月期	193,667株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2022年2月期3Q	1,776,333株	2021年2月期3Q	1,776,333株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(追加情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、2021年7月—9月期の四半期別GDP実質成長率はマイナスに転じました。企業収益は、新型コロナウイルス感染症による業績への影響度合いが軽減されてきており、雇用情勢は、完全失業率が横ばいであるものの、有効求人数は増加する傾向にあります。一方、個人消費は、実質消費支出額が減少する傾向にあります。

当社の事業セグメントは、バイク事業、フィットネス事業及び飲食事業となっております。当第3四半期累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (バイク事業)

バイクの買取台数は7,772台（前年同期比11.6%増）、販売台数は7,652台（同11.1%増）となりました。業者間オークションの相場は好況であり、小売販売も好調であったことから、売却単価は前年同期比10.6%増、粗利単価は同9.3%増となりました。また、販売費及び一般管理費は、人件費は前年同期比7.0%増となりましたが、買取りに係る広告費は同15.1%減となっております。

バイク事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高2,159百万円（前年同期比22.9%増）、セグメント利益190百万円（前年同期比148.8%増）となりました。

#### (フィットネス事業)

当事業のエニタイムフィットネス及びステップゴルフの各店舗数の増減はありません。前第3四半期累計期間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために東京都などからの休業要請を全店舗で受け入れて、4月中旬から5月末日までの期間を休業いたしました。当第3四半期累計期間は休業要請対象外となりましたので、休業期間はありませんでした。その結果、売上高は大幅に増加しました。

フィットネス事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高314百万円（前年同期比20.6%増）、セグメント利益46百万円（前年同期はセグメント損失36百万円）となりました。

#### (飲食事業)

当事業は、2020年9月にワタミ株式会社との間で「から揚げの天才」のフランチャイズ契約を締結して開始しました。前第3四半期累計期間末では1店舗の運営でしたが、当第3四半期累計期間末では11店舗を運営しております。

飲食事業の当第3四半期累計期間の業績は、新規出店費用等が発生したことにより、売上高386百万円（前年同期は同11百万円）、セグメント損失108百万円（前年同期は同10百万円）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は売上高2,860百万円（前年同期比40.9%増）、営業利益128百万円（前年同期比324.4%増）、経常利益146百万円（前年同期比331.7%増）、四半期純利益119百万円（前年同期比424.9%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 財政状態の状況

#### (資産)

当第3四半期会計期間末において総資産は1,507百万円となり、前事業年度末と比較して82百万円増加しました。主な増加要因としては、バイク事業における小売在庫の増加等で商品が154百万円増加したこと及び飲食事業の出店等に伴い有形固定資産が145百万円増加したこと、主な減少要因としては、各増加要因に伴う金銭の支出及び長期借入金の返済等で現金及び預金が245百万円減少したことによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末において負債は1,058百万円となり、前事業年度末と比較して36百万円減少しました。主な増加要因としては、1年内償還予定の社債を含む社債が100百万円増加したこと、主な減少要因としては、長期借入金の返済により1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金が154百万円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末において純資産は448百万円となり、前事業年度末と比較して119百万円増加しております。これは、四半期純利益119百万円を計上したことによるものであります。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間末の現金及び現金同等物は506百万円(前年同期は795百万円)となっております。当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は55百万円(前年同期は得られた資金95百万円)となりました。主な要因は、得られた資金としては減価償却費39百万円の計上及び税引前四半期純利益146百万円の計上、支出した資金としてはたな卸資産の増加額154百万円によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は238百万円(前年同期は支出した資金53百万円)となりました。主な要因は、主に飲食事業の出店に伴う有形固定資産の取得による支出192百万円、差入保証金の差入による支出44百万円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は64百万円(前年同期は得られた資金207百万円)となりました。主な要因は、支出した資金としては長期借入金の返済による支出154百万円、社債の償還による支出50百万円、得られた資金としては社債の発行による収入144百万円によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月12日に公表いたしました業績予想数値からの変更はありません。

バイク事業は、買取台数増大のために営業部門の体制の整備に取り組んでおり、買取台数の増加及び販売台数の増加につながっております。

フィットネス事業は、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、安心、安全な店舗環境を整えることで会員数が回復傾向にあります。

飲食事業は、当事業年度末までにかから揚げの天才FC店を16店舗とすることを目標としておりましたが、当第3四半期累計期間末において11店舗となっており、今後の出店については検討中としております。

いずれの事業も業績の推移を精査しているところであるため、現時点での業績予想の変更は行いません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2021年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	759,853	514,068
売掛金	47,489	54,306
商品	220,018	374,097
貯蔵品	2,014	2,135
前払費用	41,325	39,778
その他	7,139	616
流動資産合計	1,077,841	985,002
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	133,163	233,772
その他(純額)	55,017	99,990
有形固定資産合計	188,181	333,763
無形固定資産	10,877	8,869
投資その他の資産	148,226	179,783
固定資産合計	347,284	522,415
資産合計	1,425,126	1,507,417
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	31,578	28,307
1年内償還予定の社債	70,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	194,411	138,599
未払法人税等	11,487	27,053
賞与引当金	12,082	4,706
その他	122,730	138,407
流動負債合計	442,290	437,073
固定負債		
社債	205,000	275,000
長期借入金	435,084	336,621
その他	13,345	10,189
固定負債合計	653,429	621,810
負債合計	1,095,720	1,058,884
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	232,825	232,825
資本剰余金	266,598	266,598
利益剰余金	△97,158	21,968
自己株式	△73,858	△73,858
株主資本合計	328,406	447,533
新株予約権	1,000	1,000
純資産合計	329,406	448,533
負債純資産合計	1,425,126	1,507,417

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自2021年3月1日 至2021年11月30日)
売上高	2,030,086	2,860,585
売上原価	1,038,126	1,434,766
売上総利益	991,959	1,425,818
販売費及び一般管理費	961,757	1,297,639
営業利益	30,201	128,178
営業外収益		
受取手数料	2,049	1,991
助成金収入	11,686	27,299
その他	3,375	3,482
営業外収益合計	17,110	32,774
営業外費用		
支払利息	6,223	6,058
社債利息	1,228	1,882
社債発行費	5,863	5,863
その他	10	426
営業外費用合計	13,325	14,231
経常利益	33,986	146,721
税引前四半期純利益	33,986	146,721
法人税、住民税及び事業税	7,474	27,885
法人税等調整額	3,815	△290
法人税等合計	11,290	27,594
四半期純利益	22,696	119,127

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	33,986	146,721
減価償却費	27,398	39,703
のれん償却額	1,867	—
株式報酬費用	13,184	13,184
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,449	△7,376
受取利息	△25	△26
助成金収入	△11,686	△27,299
支払利息	6,223	6,058
社債利息	1,228	1,882
社債発行費	5,863	5,863
売上債権の増減額 (△は増加)	24,717	△6,817
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,310	△154,199
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,173	△3,270
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	603	5,895
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	18,094	20,931
その他	2,376	6,880
小計	110,897	48,133
利息の受取額	33	4
利息の支払額	△7,848	△8,072
法人税等の支払額	△19,253	△11,628
助成金の受取額	11,686	27,299
営業活動によるキャッシュ・フロー	95,515	55,735
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,350	△1,350
有形固定資産の取得による支出	△22,356	△192,771
有形固定資産の売却による収入	1,040	7,625
無形固定資産の取得による支出	△11,806	—
差入保証金の差入による支出	△21,459	△44,563
差入保証金の回収による収入	8,786	—
出資金の払込による支出	△30	—
その他の支出	△5,960	△7,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53,135	△238,559
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△24,998	—
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△188,213	△154,275
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,385	△2,714
社債の発行による収入	144,136	144,136
社債の償還による支出	△20,000	△50,000
割賦債務の返済による支出	△1,459	△1,459
財務活動によるキャッシュ・フロー	207,081	△64,312
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	249,460	△247,135
現金及び現金同等物の期首残高	546,122	753,853
現金及び現金同等物の四半期末残高	795,583	506,717

#### (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

##### 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計 (注)
	バイク事業	フィットネス 事業	飲食事業	
売上高	1,757,530	260,643	11,913	2,030,086
セグメント利益又は セグメント損失(△)	76,519	△36,025	△10,291	30,201

(注)「セグメント利益又はセグメント損失(△)」は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)

##### 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計 (注)
	バイク事業	フィットネス 事業	飲食事業	
売上高	2,159,908	314,341	386,335	2,860,585
セグメント利益又は セグメント損失(△)	190,378	46,294	△108,494	128,178

(注)「セグメント利益又はセグメント損失(△)」は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

##### 2. 報告セグメントの変更に関する事項

前事業年度より開始しました飲食事業について、前第3四半期累計期間では「その他」に含めておりましたが、金額的な重要性が増したため、当第3四半期累計期間では報告セグメントに追加しております。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載していません。

(追加情報)

当第3四半期累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。